

船来山周辺施設利活用に関するサウンディング型市場調査の結果概要について

平成31年3月25日
本巢市産業建設部産業経済課

1. サウンディング実施の経緯

本市の南部に位置する船来山周辺には、特産品である富有柿を核とした9つの施設があり、農業指導や市民の憩いとふれあいの場、都市と農村の交流の場として親しまれています。また、船来山には、東海地方最大級の「船来山古墳群」があり、今年度に国から史跡指定を受けたところです。そこで、船来山周辺の既存施設と船来山古墳群を連携した活用方法を、民間活力の導入も視野に入れ検討していきたいと考え、民間事業者との「対話」を通じて、施設利活用の可能性のアイデアを調査する「サウンディング型市場調査」を実施しました。

2. サウンディングの実施経過

| | |
|------------|--|
| 平成31年1月25日 | サウンディング実施要領の公表 (市HPでの公表及び新聞記事による周知) |
| 平成31年2月21日 | 現地見学会の開催 【参加事業者：3社】 |
| 平成31年3月11日 | サウンディングの実施【参加事業者：1社】 |

3. サウンディング結果の概要

- ・この地域の振興や活性化などに貢献できるものとするためには、富有柿の里の大規模な改修による施設リニューアルが必要との提案を受けました。
- ・船来山古墳群について、安全で安定的に運営を行うためには、有料施設の部分と一般に広く解放する部分とを分けて、利活用をしていく提案を受けました。
- ・現在の施設の収支状況では、民間事業者の参入は難しく、施設内容を充実させ、いいものを提供していくためには、利用料金の改定や市負担による維持管理が必要との意見がありました。
- ・施設整備や運営管理について、指定管理方式やPFI方式などの手法が考えられるとの意見がありました。
- ・現在の駐車場では狭いので、広くして利用者の利便性の向上を図るべきとの意見がありました。
- ・現在の施設は、階段や急な坂が多いのでバリアフリー化を含めた改修が必要となってくるといいう意見がありました。

4. サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングにより、既存施設の大規模改修、船来山古墳群の利活用、利用料金、施設整備と運営手法等のご提案をいただきました。

今後、サウンディング結果を踏まえて、いただいた提案や意見を参考に、民間活力の導入も含め、実現性・継続性のある船来山周辺施設の利活用について、検討を進めます。

なお、船来山古墳群の利活用については、今年度、国の史跡指定を受けて間もないことから、具体的な整備方針や整備計画について時間がかかることが想定されます。